

気候変動適応策の国際展開 国立環境研究所の取組

国立環境研究所 気候変動適応センター
副センター長 行木美弥

2019年6月3日

OECC 橋本道夫記念シンポジウム

気候変動適応法の概要

平成30年6月13日公布
平成30年12月1日施行

1. 適応の総合的推進

- 国、地方公共団体、事業者、国民が気候変動適応の推進のため担うべき役割を明確化。
- 国は、適応を推進する**気候変動適応計画**を策定。把握・評価手法を開発。
- 気候変動影響評価**(おおむね5年ごと)して計画を改定。

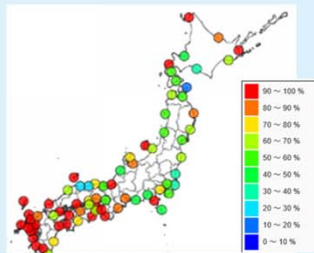


各分野において、
信頼できるきめ細かな情報に基づく
効果的な適応策の推進

2. 情報基盤の整備

- 情報基盤の中核としての**国立環境研究所**

「気候変動適応情報プラットフォーム」



- 予測情報
- 自治体情報
- 適応策情報
- ビジネス情報

3. 地域での適応の強化

- 地方自治体に、**適応計画**策定の努力義務。
- 情報収集・提供等を行う**地域気候変動適応センター**を確保。
- 広域協議会**を組織し、国と地方自治体等連携

4. 適応の国際展開等

- 国際協力の推進。
- 事業者等の取組・適応ビジネスの促進。

国立環境研究所 気候変動適応センター設立

(2018年12月1日)



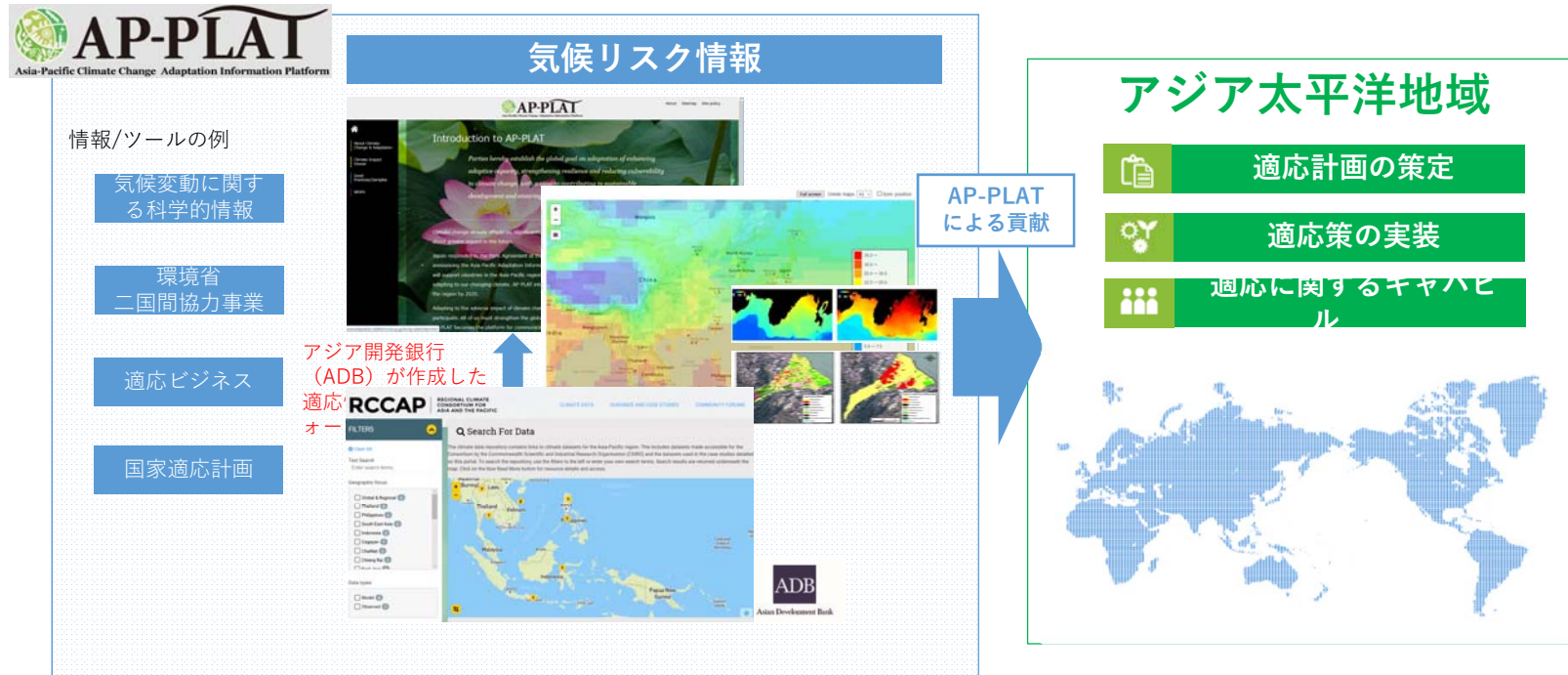
Center for Climate Change Adaptation

気候変動適応センターの機能

- ◆国内研究機関との連携等による適応研究・事業推進
- ◆関係機関・事業者・個人等との間での影響・適応等情報収集・分析・提供機能（情報基盤：A-PLAT）
- ◆地域気候変動センターとの事業の連携
- ◆地方公共団体適応推進のための技術的助言や援助
- ◆人材育成やアウトリーチによる適応施策支援
- ◆アジア地域等国際的な貢献（AP-PLAT）

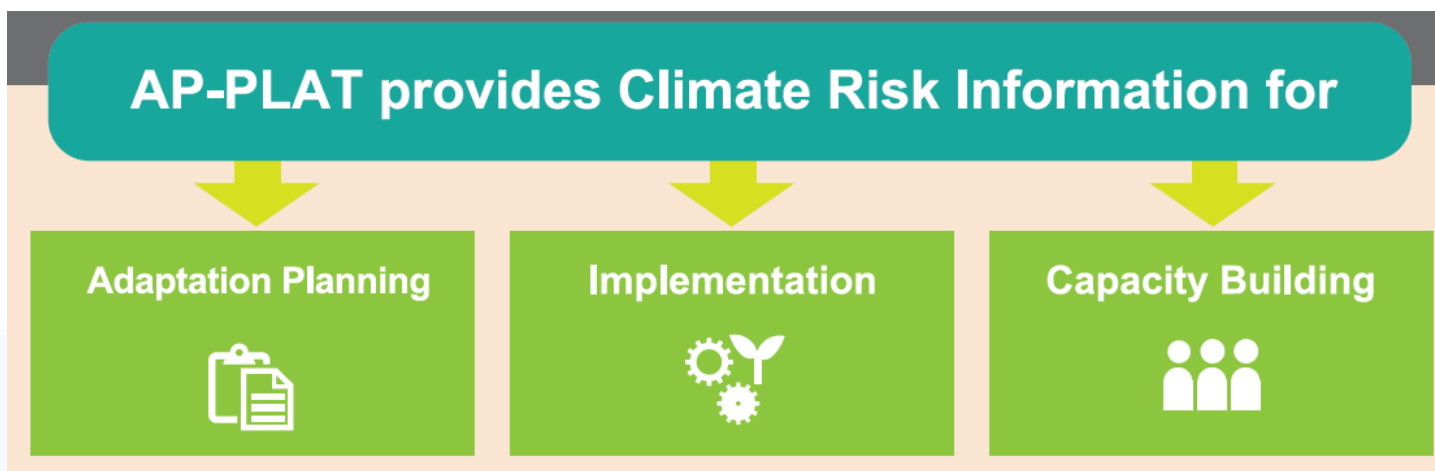
アジア太平洋適応情報プラットフォーム(AP-PLAT)

- AP-PLAT : 科学的知見に基づいたアジア太平洋地域の途上国における適応計画の策定・実施を支援するための情報基盤。2020年までに本格公開の予定。
- AP-PLAT が担う 3つの主な機能：
 1. 情報基盤整備： 気候変動や影響予測に関する科学的データの提供
 2. 支援ツール： 簡易モデル，リスクマップ，優良事例等による適応支援
 3. 人材育成： 関係者との協働でのデータセット開発，専門家派遣



AP-Platは気候変動への適応策推進のため 関係者間の情報共有を加速します

1. 地域の気候変動影響予測情報や、科学的知見を充実します
2. 適応計画に取り組む人に役立つ支援ツールをわかりやすく提供します
3. 適応計画や予測、影響評価の人材育成に取り組めます



ASIA-PACIFIC ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

気候変動と適応



Climate Change & Adaptation

計画と実施



Plans & Implementations

ツールとガイドライン



Tools & Guidelines

資金に関する情報



Financial Information

適応ビジネス



Adaptation Business

ニュース



News

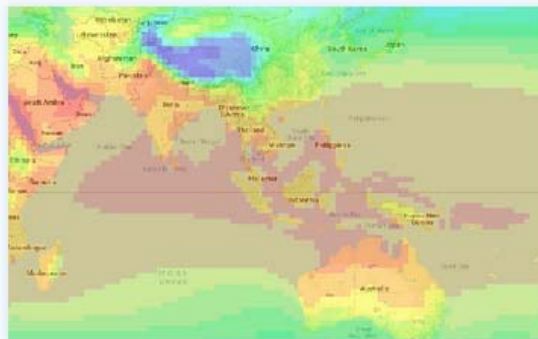


TOP > Plans & Implementations

各国が参考になる情報として

- 気候変動影響の予測結果をグラフで表示
- 関連するプラットフォーム
- 国際機関や各国政府によるガイドライン

Tools & Guidelines



> [Climate Impact Viewer](#)



> [Platforms](#)

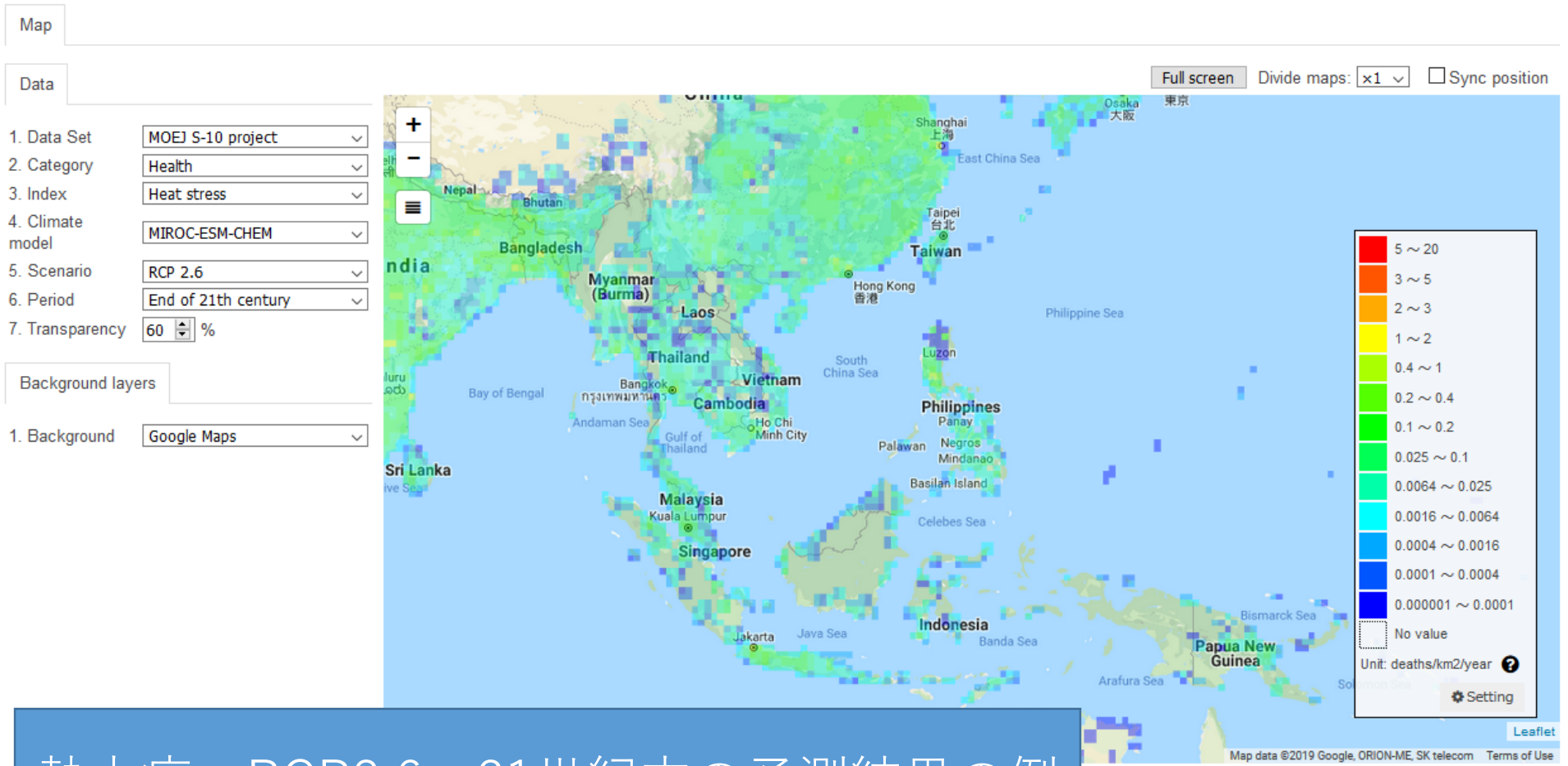


> [Guidelines](#)

AP-PLAT CLIMATE IMPACT VIEWER
Asia-Pacific Climate Change Adaptation Information Platform

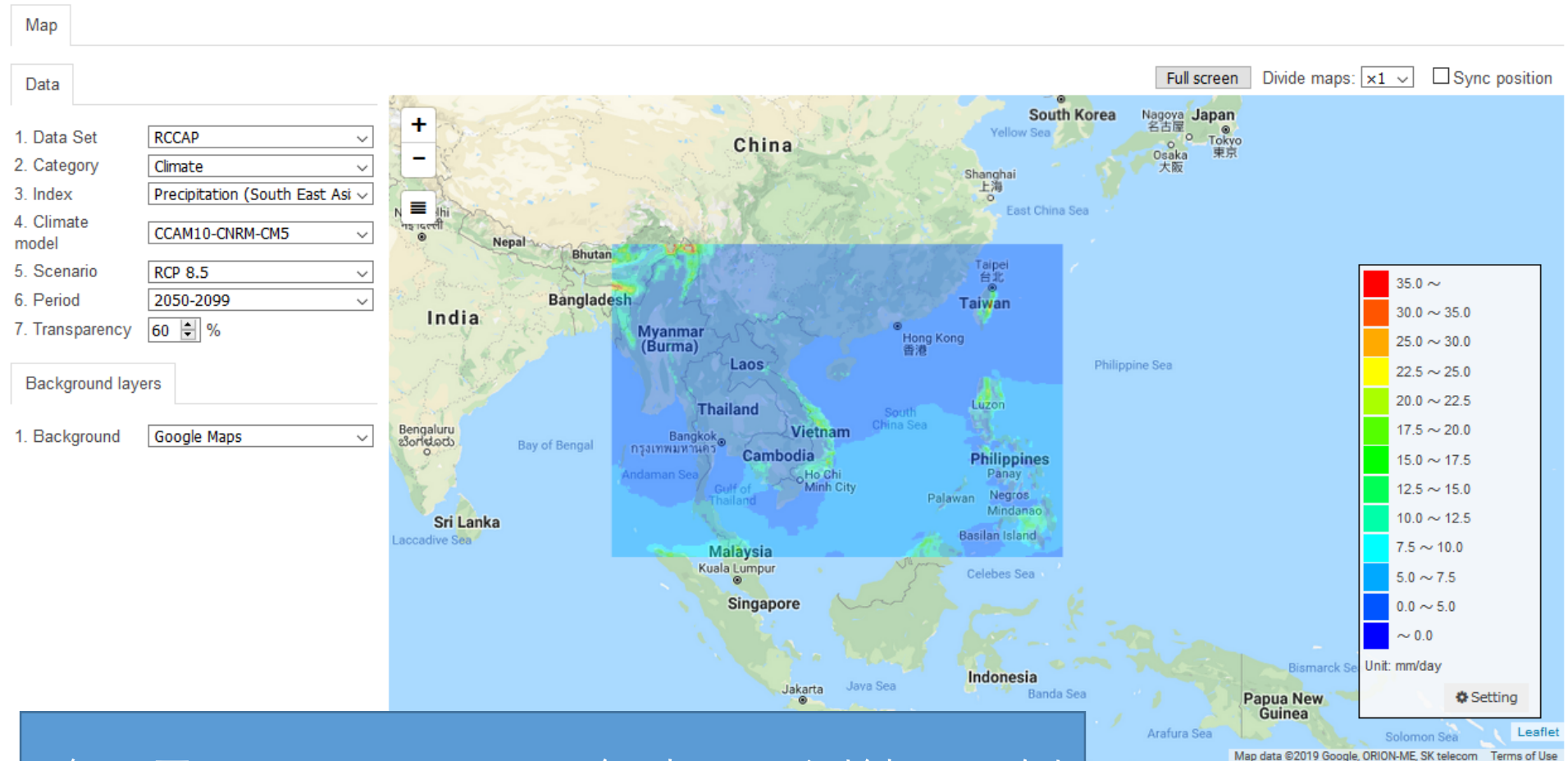


** The data presented here are for demonstration purposes only. **



熱中症、RCP2.6、21世紀末の予測結果の例

** The data presented here are for demonstration purposes only. **



降雨量、RCP8.5、21世紀末の予測結果の例